

# 強制受胎工場の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	強制受胎工場の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	強制受胎工場を読んだことのある10代～50代の男女10名
調査期間	2024年12月21日～2024年12月23日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kyouseizyutaikouzyou/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kyouseizyutaikouzyou/</a>

>> 強制受胎工場の試し読みはこちら

## ■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えてください。

Q2:強制受胎工場の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

Q1:年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	1名(10%)
30代女性	3名(30%)
40代女性	1名(10%)
20代男性	2名(20%)
30代男性	2名(20%)
40代男性	1名(10%)

Q2: 強制受胎工場の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

若くて可愛らしい女性達が、拘束されながらゴンドラを流れる様子は異様な光景でしたが、膣の拡張で段階を踏みながらマンコに異物を挿入するシーンは興奮したけど、最終的に60ミリの物を挿入する所が驚きました。感度チェックで触手をマンコに擦り合わせて、エッチな声を出しながらイキまくる女の子が恥ずかしそうで可愛かったです。

人口減少を止めるため、女性を工場に強制的に収容し孕み袋にするという内容のお話なのですが、とにかく女の子たちの恥辱に塗れた表情がたまらなかったです...!

工場のラインに乗せられた女の子たちが、機械により強制的に絶頂させられる背徳感がめちゃくちゃエロかったですね。

間違いなく女の子にとっては悪夢のような施設でしょうが、男の夢を詰め込んだ工場でした。

少子高齢化という本邦の抱える課題を、とんでもない方法で無理やり解決しようとする作品です。

工場のラインの説明がかなり細かく描かれていて、検査により弾き出された女性には別の処置がなされるなどの設定が非常に面白かったです。

あくまで工場なので相手は人間ではなく機械という所が余計に背徳感を煽り、めちゃくちゃ興奮しました!

少子化のため妊娠が義務化された社会で、日々若い女性たちが工場に送り込まれては、受胎するのに適した身体に開発されていくという設定が面白かったです。工場のラインの中で、受胎しやすいように穴を拡張されたり、男女産み分けのために触手によって感度を上げるといった開発が施され、最終チェックは工場の男性従業員が直接触れて行うところに、ゾクゾクしました。工場見学に来た記者が、想定外の気持ちいい体験をして帰ることになるのも、意外性がありました。

圧倒的な衝撃と不快感、そして深い考察を誘う物語だと感じました。人間の尊厳や倫理を問うストーリーは、生々しい描写を通して、現実と地続きの恐怖を突きつけてきます。ただのフィクションとして片付けられない設定に、読後もモヤモヤと考え込んでしまうほど。登場人物たちの葛藤や、彼らが選択を迫られる場面に、胸が締め付けられるような感覚を覚えました。特に、支配と反抗の描写が鮮烈で、どこか現代社会への皮肉を感じずにはいられません。読んで良かったと思う一方、何度も読み返せる内容ではなく、強烈な一回限りの体験といった印象でした。

工場で女の子たちがまるでロボットのようにあれよあれよとひどい目にあってしまう作品。女性の人が見たらちょっと胸そ展開かもしれません、男性の人はストレス解消とかになる作品です。女の子がされるがままにされてしまう展開が凄くいやしくて反応とかも凄くスケベです。色んなバリエーションでエロエロになっていくところがたまらないです。

この作品のキャラデザがとても可愛らしいですね。強制受胎工場なんて不穏なタイトルですが、その工場だよがっている女の子たちの反応が本当に卑猥さに満ち溢れているのでそこに注目してほしいですね。人口減少の歯止めとして強制受胎対策が執行される世界観が独特でかなり面白いです。総じて可愛い女の子たちばかりがその工場に拉致されてくるのでその点もかなり魅力的ですね。

受胎工場内の風景がとても独特で面白いです。工場員の一人が感度チェックとばかりにベルトコンベアで流れてくる商品とされる女の子の体を触り反応するのか確かめる場面のいやらしさはかなりのものです。もしこんな工場があったら自分もちよっと働きたいぐらいですね。それくらい性欲を爆発させても問題ない施設なので見ていてすごく興奮できました。

工場の流れ作業で受胎させられるという、なんとも無慈悲な設定です。エッチを目的としてエロおやじに

襲われる方がまだマシなのかも。泣いても叫んでも止めてくれるはずがない。そういったプログラムが組み込まれているからそのままやられてしまう。違った意味での無理やり系の作品です。可愛い女の子たちが餌食に、癖になりそう。

人口減少の結果、政府が打ち出した「強制受胎政策」が行われているという人権なき世界線でのお話。

いわゆるディストピアものと位置づけることが出来る本作、存分に残酷な性的な世界が描かれています。

只管、拷問にも近い「受胎作業」が行われている工場を主人公(工場に視察?に来た人物)の一人称で見る形となっており臨場感を感じる事が出来る内容です。

工場で扱われる女の子の背景などは一切無く、無機質な感じはあえてそうしてる感じがあり。

そんな非人権的な工場なので、倫理観なんてものは当然崩壊している訳で主人公やら工員も女の子にやりたい放題やる描写がありますので

「可哀想じゃないとぬけない」タイプの人におすすめです。

しかし、オチはきちんと(ディストピア的な世界観にも関わらず)法によって裁かれる内容となっており唯一の救いとなっています。

**漫画全巻の部屋**

by (株)グリュックス